

様式第 1 号(第 2 条関係)

道路占用
許可申請
協議書

新 規	更 新	変 更	年 月 日
--------	--------	--------	-------

大田原市道路管理者
大田原市長

様

年 月 日

郵便番号
住 所
氏 名
担当者
TEL

印

大田原市道路占用管理規則第2条の規定により道路占用
許可を申請
協議 します。

占 用 の 目 的			
占 用 の 場 所	路線名 市道	線	車道・歩道・その他
	場 所	大田原市	
占 用 物 件	名 称	規 模	数 量
占 用 の 期 間	年 月 日から	間	占用物 件の構 造
	年 月 日まで		
工 事 の 期 間	年 月 日から	間	工事实 施の方 法
	年 月 日まで		
備 考			

★道路占用料がある場合は、占有物件を廃止（廃止届）するまで占用料が発生します。

誓 約 書

年 月 日

大田原市道路管理者
大田原市長 様

住所

氏名 ④

(法人の場合は名称及び代表者)

電話

わたしは、合併浄化槽処理水を道路側溝へ放流するため、当該側溝に取り付ける排水管の占用許可又は使用許可を申請するにあたり、次のことを誓約します。

1. 公共下水道等が整備（供用開始）されたときは、公共下水道等にし尿及び生活雑排水を流入させるとともに、道路管理者に届け出て、排水管を除去し、道路側溝は現状に復旧します。
2. 浄化槽法に定める保守点検、清掃、水質に関する検査を確実に履行するとともに、検査の結果、改善を要する、又は改善することが望ましいとの判定を受けたときは、速やかに改善を行います。
3. 処理水に起因する悪臭、水質汚濁その他生活環境を阻害する要因が発生し、近隣から苦情があったときは、誠意をもって解決にあたります。
4. 道路側溝からの逆流水その他排水管が道路側溝と接続していることに起因する事由によって浄化槽に損傷等が発生しても、自費で修繕等を行い、何らの請求も行いません。

合併処理浄化槽処理水の市道及び認定外道路側溝への放流申請の必要書類

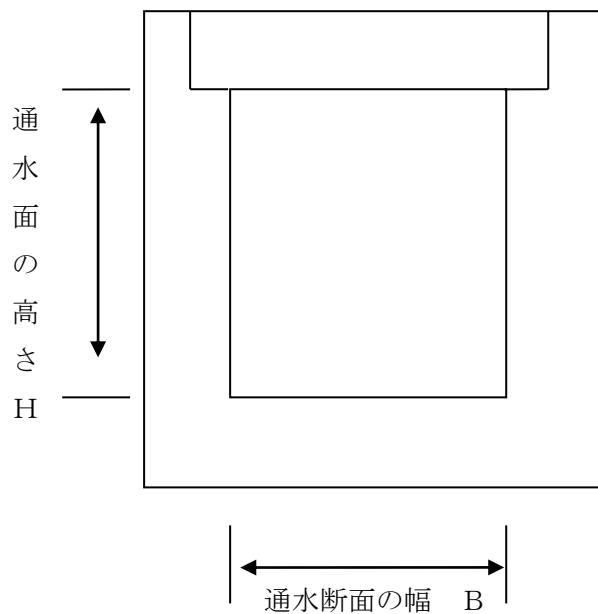
- 1 道路占用許可申請書又は法定外公共物使用許可申請書
- 2 誓約書
- 3 既存側溝現況通水断面図
- 4 国土交通大臣が浄化槽法第15条の規定に基づき認定した「型式認定書」又は国土交通大臣指定認定機関が発行する「型式適合認定書」の写し
- 5 道路側溝と農業用水が兼用されている場合又は道路側溝の流末が農業用水路等となっている場合は、水路を管理する団体（土地改良区、水利組合等）の承諾書
- 6 放流する地区の自治会長の同意書
- 7 委任状
- 8 その他
 - ・ 公共下水道が整備（供用開始）されていない地域とする。
 - ・ 道路側溝に取り付ける排水管は、口径100mm以下とする。
 - ・ 排水管は、道路側溝の雨水排水機能に支障を来さないように取り付けるものとする。
 - ・ 既存道路側溝の大きさが矩形断面で300mm×300mm以上、円形断面で直径400mm（内径）以上とする。
 - ・ 道路を横断しての排水管取り付けの場合は、別途排水管の構造及び土被り等の協議が必要となります。
 - ・ 道路を縦断しての排水管取り付けは出来ません。

上記の1から8については、平成15年6月に道路占用申請書類の統一を図るため様式と共に決裁を受け定められた側溝放流の際の必要書類項目です。

既存側溝の現況通水断面

《短形断面の場合》

1. 現況側溝の通水断面と寸法

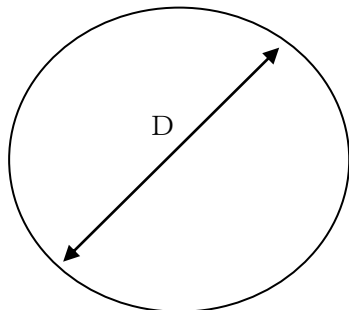


B = mm
H = mm

既存側溝の現況通水断面

《円形断面の場合》

1. 現況側溝の通水断面と寸法



直径D = mm

利害関係人の 浄化槽排水の放流 に関する同意書

下記の者から申請のあった大田原市道等側溝への浄化槽排水放流に関して、同意します。

年 月 日

利害関係人

住所

氏名

印

電話

1. 申請人の住所、氏名

2. 占用又は使用目的

3. 浄化槽排水を放流する道路側溝の所在

所在地	路線名等	施工数量

工事完了届出書

大田原市長

様

届出人（申請者） 〒
住所
氏名
電話

印

（申請代理人） 〒
住所
氏名
電話

印

年 月 日付け、大田原市指令 第 号で許可を受けた道路法第32条に関する工事を、下記のとおり完了したので届け出ます。

1. 占有の場所

2. 占有物件の名称、規模、数量

3. 工事完了年月日 年 月 日

4. 添付書類 写真（着手前から完了まで各工程が詳細に把握できる写真を添付）

記入例

道路占用 許可申請 書
協 議

新規・更新・変更のいずれかに○ →

新 規	更 新	変 更	年 月 日
--------	--------	--------	-------

大田原市道路管理者
大田原市長 様

● 年 ● 月 ● 日

**2部提出（1部は写しでも可）
道路占用料がある場合は後日納付書
発行する**

郵便番号 324-0000
住 所 大田原市本町1-4-1
氏 名 ●●●● 印
担当者
TEL 0287-23-8717

大田原市道路占用管理規則第2条の規定により道路占用

許可を申請
協 議 します。

占用の目的	浄化槽排水管道路横断		
占用の場所	路線名	市道 ●●● 線	車道・歩道・その他
	場所	大田原市 大田原市本町1-4-1	
占用物件	名称	規模	数量
	VP管	100mm	8m
占用の期間	年 月 日から	間	占用物件の構造
	年 月 日まで		
工事の期間	●年 ●月 ●日から	間	工事実施の方法
	●年 ●月 ●日まで		
備考	<p>記入しない（但し、使用期間が短期の場合は終了年月日のみ記入）</p>		

誓 約 書

記入例

記入（誓約）の日

● 年 ● 月 ● 日

大田原市道路管理者

大田原市長

様

以前はここに「浄化槽管理者」と記載されていたが、下記理由により削除。

※いわゆる「市町村設置型」の浄化槽本体および本体から前後1mの管については、下水道課が管理することになっているため。

—(浄化槽管理者)—

住所 大田原市本町1-4-1

氏名 ●●●●●

Ⓜ

(法人の場合は名称及び代表者)

電話 0287-23-8717

わたしは、合併浄化槽処理水を道路側溝へ放流するため、当該側溝に取り付ける排水管の占用許可又は使用許可を申請するにあたり、次のことを誓約します。

1. 公共下水道等が整備（供用開始）されたときは、公共下水道等にし尿及び生活雑排水を流入させるとともに、道路管理者に届け出て、排水管を除去し、道路側溝は現状に復旧します。
2. 浄化槽法に定める保守点検、清掃、水質に関する検査を確実に履行するとともに、検査の結果、改善を要する、又は改善することが望ましいとの判定を受けたときは、速やかに改善を行います。
3. 処理水に起因する悪臭、水質汚濁その他生活環境を阻害する要因が発生し、近隣から苦情があったときは、誠意をもって解決にあたります。
4. 道路側溝からの逆流水その他排水管が道路側溝と接続していることに起因する事由によって浄化槽に損傷等が発生しても、自費で修繕等を行い、何らの請求も行いません。

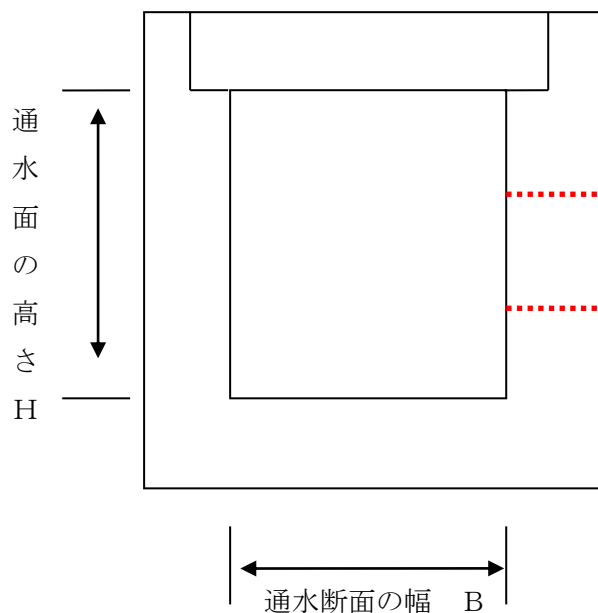
合併浄化槽からの放流は、下水道が完備されるまでの間ですので完備された場合は、下水道への接続をすることになります。
また、下水道が完備されている場合には道路側溝への接続は認められません。

既存側溝の現況通水断面

記入例

《短形断面の場合》

1. 現況側溝の通水断面と寸法



接続位置はできるだけ高い位置にする（断面の半分より上に接続）

接続する排水管（位置）

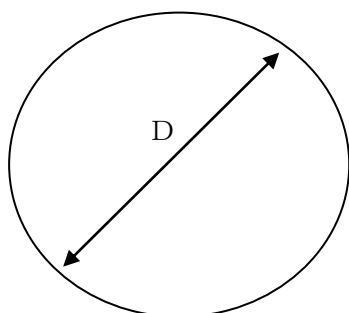
B = 300 mm

H = 300 mm

既存側溝の現況通水断面

《円形断面の場合》

1. 現況側溝の通水断面と寸法



直径D = 100 mm

利害関係人の 側溝放流 に関する同意書

下記の者から申請のあった大田原市道等側溝への浄化槽排水放流に関して、同意します。

年 月 日 ←記入した日

記入例

利害関係人 自治会長、土地改良区など
利害関係人からそれぞれ
住所 署名（肩書も記入する）
氏名 印
電話

1. 申請人の住所、氏名

大田原市本町1-4-1 ●●●●

2. 占用又は使用目的

合併浄化槽処理水を道路側溝に放流する。

市道の場合は路線名を記入する。
法定外公共物の場合は認定外道路
と記入する。

3. 浄化槽排水を放流する道路側溝の所在

所在地	路線名等	施工数量
大田原市●●●●番先	市道 ●●線	1箇所
大田原市●●●●番先	認定外道路	1箇所

工事完了届出書

大田原市長

様

1部提出

届出人（申請者） 〒324-0000

住所 大田原市本町1-4-1

氏名 ●●●●

印

電話 0287-23-8717

（申請代理人） 〒

住所（代理人がいる場合には記入）

氏名

印

電話

● 年 ● 月 ● 日付、大田原市指令 ● 第 ● 号で許可を受けた道路法第32条
に関する工事を下記のとおり完了したので届け出ます。

1. 占有の場所

大田原市本町99-99

2. 占有物件の名称、規模、数量

農業用排水管、φ50（外径60mm）、6m

3. 工事完了年月日

● 年 ● 月 ● 日

4. 添付書類

写真（着手前から完了まで、各工程が詳細に把握できる写真を添付）